

# 埼玉 GPN NEWS

Saitama Green Purchasing Network  
 埼玉グリーン購入ネットワークニュース  
 第33号 2025年3月

～環境への負荷が少ない商品・サービスの優先購入を進める  
 首都圏初の地域ネットワーク～



田部井 良 社長

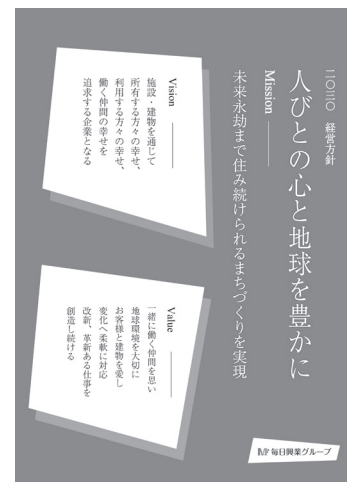
「未来永劫まで住み続けられる  
 まちづくりを実現」をミッションに  
 ～SDGs目標11「住み続けられる  
 まちづくりを」への取組～  
 毎日興業株式会社  
 代表取締役 田部井 良氏

今回は設立当初から会員として参画いただいています毎日興業株式会社 田部井社長にお話をお伺いしました。毎日興業株式会社は、さいたま市大宮区に本社を構え、一都三県を中心にビルメンテナンスから建物に関する様々なサービスを提供する建物総合管理会社です。改めて近年の活動について星野会長がお聞きしました。



星野会長：本日はお忙しい中、お時間をいただきありがとうございます。早速ですが、御社が取り組む環境や社会貢献活動について、ご紹介いただけますか。

田部井社長：当社は「人が信頼を築き、信頼が社業を支え、社業をもって地域発展に貢献する」という理念のもと、52年にわたり事業活動を続けています。一昨年には、『2030経営方針』として、「人と地球を豊かに」というスローガンを掲げ、2030年までのあるべき姿を可視化しました。ミッションには「未来永劫まで住み続けられるまちづくりを実現」を謳い、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」とリンクする施策を進めています。地域ボランティア活動という側面が強かったCSR活動からCSV活動にフェーズを移行し、社員一丸となって取り組んでいます。



星野会長：経営方針の見直しは、たしかに事業活動において重要ですね。活動内容を具体的にお聞かせいただけますか？

田部井社長：従来から実施している主な活動として、クリーンタウン活動（事務所周辺のゴミ拾い）、イーリスの森づくり活動（埼玉県農林公社が所有する森林の保全活動）、大宮アルディージャ（現：RB大宮アルディージャ）手話応援デー開催等があります。これら

## CONTENTS

- トップインタビュー 毎日興業株式会社 代表取締役 田部井 良氏 ..... 1
- 純木造8階建てAQ Group本社を見学しました！ ..... 2
- 第2回オンラインミニセミナーを開催しました！ ..... 3
- さいたま商工会議所から感謝状をいただきました ..... 4
- 新会員紹介 スーパーバッグ株式会社 ..... 4

の取組を当社の基本事業である建物・施設・公共施設の管理と統合し、持続可能な体制の構築を行っています。例えば、管理させて頂いている3,700棟の建物から排出されるCO<sub>2</sub>を削減するため、照明機器のLED化や空調設備の改修等を行うとともに、イーリスの森づくり活動ではCO<sub>2</sub>の吸収に貢献しています。

また、埼玉県が推進するロードレポーター制度に登録し、道の陥没、停止線や表示看板の不具合・破損等を行政に報告しています。2030年までに5,000件の通報を目標とし、建物の安全を守ることは当然ながら、建物に居住される方や利用される方の移動中の安心・安全を守ることも主眼にあります。結果として従業員の心に響き、2025年2月の報告件数は累計3,600件と急増しています。今ではDX化を図り、アプリから詳細・写真・位置情報の登録を行い、速やかに主管部署が対応できるよう整備しています。

**星野会長：**埼玉県八潮市では道路陥没事故が発生し、大きな被害をもたらしました。道路の老朽化時代ですから、このような取組は社会において必要ですね。

**田部井社長：**「幸せ」には前提として「安心」「安全」「快適」がありますので、『2030経営方針』におけるビジョン「施設・建物を通じて所有する方々の幸せ、利用する方々の幸せ、働く仲間の幸せを追求する企業となる」の実現に向けて、建物の外にも目を向けるように意識付けをしています。“気づく”感性を持つ従業員の育成にも繋がり、建物の突発的なトラブルの対応を中心とした営業スタイルから、建物のバリューアップを目的とする提案型の営業が増えています。

**星野会長：**CSV活動を進めることで、従業員育成にもなり、お客様サービスの拡充にも繋がったのですね。その他にも力を入れている施策はありますか？

**田部井社長：**清掃業務では植物由来の洗剤『ナノトップ』に切り替えました。環境に優しく、手荒れもせず保湿効果も得られ、作業員にとって優しい環境を整えました。

さらに、今年度は特殊洗浄とガラスコーティング技術を組み合わせた『ナノメンテSB工法』を導入しました。この工法で、通常の清掃では落としづらい汚れを劇的に落とし、その上に水から生成した自然にやさしいガラスコーティングを塗布することで汚れが付着しにくい状態にします。それによって、素材そのものを

活かすことができ、修繕工事や施工を減らすことができます。一例として、武蔵一宮氷川神社様の社務所前の床面タイルが鉄粉のような汚れと日焼けによって変色した状態だったのですが、この工法で元の色である真っ白の状態に戻すことができました。

**星野会長：**まさしくグリーン購入であり、環境をきっかけとした新しいビジネスですね。その他のSDGsの取組内容も教えていただけますか？

**田部井社長：**事務所におけるCO<sub>2</sub>排出量や廃棄物の削減、節電などの省エネ対策は、目標値を掲げて全社展開しています。シュレッターゴミは、加熱処理から溶解処理に切り替え、資源循環の行きつく先まで確認を行うようにしています。本社建物の屋上には太陽光パネルを設置したのですが、支柱を高く立てることで屋上スペースに空間を作ることができ、断熱効果も得られました。さらには日差しが強い建物南側ガラス面に遮熱塗料を塗布し、室内の温度を下げる試みをしています。EVカーへの切り替え及び自社用充電スペースを3ヶ所設置しました。

このような一連の活動は『エコステージ』という環境経営マネジメントシステムを導入することで、全社展開を可能としています。各部署内で帳票を活用して会議やヒアリングを行うことでPDCAを回し、継続的な改善活動を行っています。

**星野会長：**様々な取組をお聞かせいただきありがとうございます。SDGs目標を目指し、社員一丸となって取り組まれていることを心強く思います。マネジメントと社員の協力は、コミュニケーションがあってこそと思います。地域に根差した心温かい会社経営だと感じました。

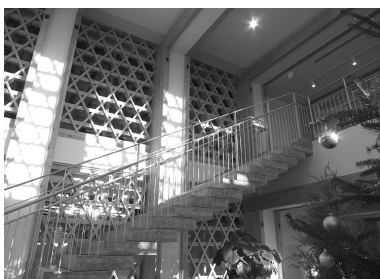
### 純木造8階建てAQ Group本社を見学しました！

年の瀬も迫った12月11日、さいたま市内でひと際目を引く純木造8階建てのビル、AQ Group本社を会員9名で見学しました。当建築物は実証実験ビルという目的も兼ねており、今までの木造ビル建設と比べて費用は1/2、施工費は坪145万円というコストパフォーマンスを達成し、中小ゼネコン・工務店と連携して中規模木造ビル・マンションの16兆円市場への参入を目指しています。

従来の中規模の純木造ビルに関しては、「耐震性能」や「耐火性能」、「コスト高」、「施工体制」等がネックとなっており、普及という点では話題先行となっていました。



しかし、これまでアキュラホームで培った戸建て木造住宅の「材料+生産システム+施工シス



テム」を上流から川下まで徹底活用し、さらに自社の技術力や構想力をプラスし、圧倒的なコストパフォーマンスで安価に作る事が可能となりました。結果、中小ゼネコンや工務店でも建設できる「純木造中規模建築物に普及型プロトタイプ」として、広く展開が可能となりました。数多くの課題をクリアし社屋を竣工した経験を活かし、日本の社寺建築のように、環境に適した中規模木造住宅の発展に貢献したいとのことでした。

## 第2回オンラインミニセミナーを開催しました！

11月28日(木)に今年度第2回目のオンラインミニセミナーを開催し、27名に参加いただきました。オンラインミニセミナーは、誰でも気軽に参加できるようにと、特に、事例を中心に毎回3事例、各25分程度の発表を提供しています。今回は、第25回グリーン購入大賞受賞者である、株式会社ワークスタジオ様、株式会社wash-plus様、中野製薬株式会社様の3社にご登壇いただきました。以下、簡単にご紹介します。

①株式会社ワークスタジオ“美しくて新しい繊維の資源循環・循環型繊維リサイクル『PANECO®』”の取組について、代表取締役 原 和宏氏からご紹介いただきました。

食品ロスや衣類の廃棄は、現代社会において深刻な問題となっています。衣類の廃棄量は、世界で年間約9200万トンと推測されており、そのうち約82%は埋め立て処分か焼却処分されています。これらの社会課題の解決のために、デザインの視点からアプローチし、繊維を美しく再資源化(デザイン+リサイクルでアップサイクル)し、環境に配慮したサステナブルなリサ

イクル素材(循環する環境配慮型-建材-内装材-床材)ボード「PANECO®」を製造し、サーキュラーエコノミーを具現化しています。あらゆる繊維、例えばプラスチック繊維や釣り糸等が「PANECO®」の素材となります。原氏は最後に衣食住の資源循環の構築により、新しい経済を作り上げていきたい。この取組を世界に広げていきたいと抱負を語られていました。

②株式会社wash-plus“洗剤を使わず人と地球にやさしいアレルゲンフリーの洗濯『wash+Technology』”の取組について、代表取締役高梨 健太郎氏からご紹介いただきました。

高梨氏は、東日本大震災後不動産業が難しくなり、洗濯に付加価値をプラスしたコインランドリーを始めました。子どものアトピー性皮膚炎の発症率は13.2%で、親のものと一緒に洗濯ができないという課題があります。そこで、洗剤の代わりにアレルゲンフリーのアルカリイオン水で洗浄する仕組みを構築しました。それに伴い、水の使用量を削減しクリーンな排水で地球環境にも貢献することができました。

現在、全国に49店舗を展開し、37のホテルでも当ランドリーが使用されています。さらに、コインランドリー機器とスマートフォンのアプリを連動させて、スマートフォンアプリから、クレジットカード決済・ドアロック・ブラインド(ガラスが曇る機能)オンオフ・終了通知・ドア解放通知等が使用または確認できるよう、顧客の利便性を向上させる取組も行っています。先進的なIoTの導入により、気象データを活用し料金設定を行う等、ピークの平準化から稼働率を上げることも取り組んでいます。

世界の人口増、異常気象による水不足等の課題に対して、水をろ過して再利用できるシステムを家電メーカーと開発に取り組む等、水を守る洗濯技術を高め、環境への貢献を目指しています。

③中野製薬株式会社“Z世代・α世代の顧客、美容師に向けてのナカノワックスを通じたグリーン市場の拡大”の取組について、執行役員の坪西 慎氏よりご紹介いただきました。

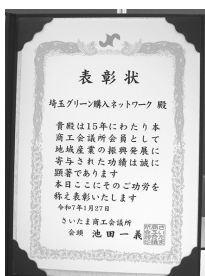
主に若い世代やプロに向けたヘアケア製品の製造・販売を行っています。化粧品の市場規模は約1兆3,000億円と言われており、そのうち、頭髮化粧品が約28%を占めています。その中で、ナカノワックスの累計総出荷本数は5,000万本以上となっています。これまでの自社の環境への取組として、「NAKANO SUSTAINABILITY ACTION PLAN」を策定し、社内で取り組んできました。具体的には、頭髮化粧品業界初の

カーボンフットプリント (CFP) の算出に挑戦しました。三井物産株式会社のCFP算定ツールを活用し、「ナカノワックス」製品のライフサイクルで排出したCO<sub>2</sub>を積み上げ、より実態に即したCFPを自主算出しました。11アイテムの商品別の算出結果を公開しています。

他にも、自社工場の排水量削減や廃棄物の抑制等の他にCO<sub>2</sub>排出量の見える化を実現しています。また、再生可能エネルギー100%の電力を導入し、低炭素、循環型社会の実現を目指しています。最後に、環境やサステナビリティへ特に意識の高い世代に対して、CFP表示の環境配慮製品を通して、「グリーン購入」の促進並びにグリーン市場の拡大を進め、さらにCFPの取組を通してサプライヤーにも広げ、2030年カーボンニュートラルの意識向上が業界全体に広がることを期待したいとのことでした。

### さいたま商工会議所から感謝状をいただきました

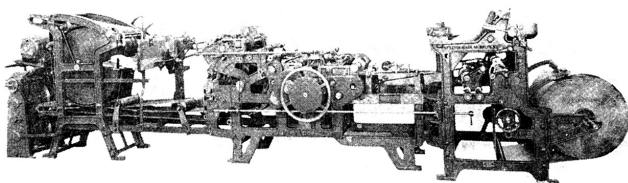
埼玉グリーン購入ネットワークは、さいたま商工会議所の会員として15年を経過したことにより、この度感謝状をいただきました。1月27日、大宮ソニックシティにて、会長の星野が感謝状を頂きました。



### 【新会員紹介】スーパーバッグ株式会社

スーパーバッグ株式会社はおかげさまで今年、120周年を迎えます。明治38年に文京区で福田紙店から始まり、先人たちの熱意と、真面目を身上に仕事に取り組んできたことで、多くのお客様に支えられ、今日を迎えることができました。

それまでは手作業で作っていた紙袋ですが、1953



日本初の角底製袋機

年に日本では初となる『自動角底製袋機』を導入。日本にスーパーマーケットができる以前のお話です。

平袋・角底袋のメーカーとしてスタートし、時代の流れとともに手提げ袋やポリ袋・紙器などの取り扱いを増やし、現在は総合パッケージメーカーとして活動しています。

2024年4月より第2次中期経営計画が進行中。様々な社会課題の中、特に環境面を中心としたサステナビリティへの取り組みに注力しています。CO<sub>2</sub>の削減や省エネ・再エネ化などのエネルギー問題への対応はもちろんのこと、環境配慮型製品についても取り扱いの拡大や開発を継続しています。

主力の紙製品はFSC®認証紙や再生紙の普及。なかでも卵殻などを配合した混抄紙の開発・販売などは特に力を入れています。

ポリ袋は各種バイオマス配合品や生分解。特にプラスチックリサイクルについては、ポリ袋のみならず、成型品などへの展開も視野に入れ模索を続けています。

印刷も当初より力を入れていた「水性」フレキソ印刷の可能性を追求。段ボール印刷のイメージが強い印刷方式ですが、現在はかなり精細な印刷も可能となり、フレキソ特有の濃度感とのバランスで他の印刷方式には無い、特有の印刷表現ができるものになっています。ご興味がありましたら是非、スーパーバッグまでご一報ください！宜しくお願い致します。



フレキソ印刷の可能性の追求

#### ■ 入会案内

団体会員、サポーター（個人会員）があります。申込書はHPからもダウンロードできます。ぜひ一緒にグリーン購入を。



#### ■ 発行：埼玉グリーン購入ネットワーク

【事務局】〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5-3F  
TEL.048-749-1217 / FAX.048-749-1218  
Home Page <http://www.saitamagpn.jp/>

このニュースレターは、GPN-GL14「印刷サービス」発注ガイドラインに基づき作成しています。



印刷サービスのグリーン購入に取り組んでいます PS25-0005